

無人全自動排水処理設備 バイオアルシー活性汚泥処理

日本アルシー株式会社 本社
〒510-1312 三重県三重郡菟野町竹成弥八 1270
TEL. 059-399-2626 FAX. 059-396-3446
URL: <http://www.japan-alsi.co.jp/>

関東工場
〒329-0216 栃木県小山市大字榎木 293-6 小山南工業団地
TEL. 0285-45-9887 FAX. 0285-45-9884
名古屋支社 TEL. 052-741-9123 FAX. 052-741-0952

自動車会社各社様への納品実績が信頼の証です。

コンパクトな高性能排水処理システム バイオアルシーシステムの特徴

◆自動車会社各社様への納品実績が信頼の証です。

- (1) 敷地がない…
従来の1/3～1/10のスペースがあればOKです。
既存設備の増強にも余裕で対応できます。
- (2) 安価に排水処理したい…
汚泥削減により、処理コストは大幅ダウン
設備費も従来の1/2～1/3で済みます。
- (3) 処理が難しい廃水だけど…
バイオアルシーは従来の3～10倍の処理能力。
濃厚廃液難分解性の廃水もあまかせください。
- (4) バルキングが心配で…
当社はバルキング解消の専門会社です。バルキ
ングの原因を根こそぎ排除したシステムです。



狭い敷地で極めて高い
排水処理能力
夢物語も現実となって
実現しました。

排水処理設備の問題で敷地の問題は難題中の難題。従来の設備ではとうてい成し遂げられなかった難題もバイオアルシーなら問題ありません。独自のバイオアルシー前処理設備、曝気槽と沈殿槽が一体化したバイオアルシー本体によって従来の設備の1/30～1/10の敷地で排水処理が可能になりました。また、排水処理能力の面でも独自のシステムで従来の3～10倍の処理能力を持ち、高負荷排水の処理にも安心して処理できます。

バイオアルシー



容積負荷
5～8kgBOD day/m³

従来の
3～10倍

必要敷地面積
0.1～0.3m²/kgBOD day

従来の
1/3～1/10

バイオアルシー

管理技術者
管理技術者不要の無人自動運転

余剰汚泥量
少ないBODの10%以下
(SS相当量の20%以下)



バルキング
発生しにくく対策が容易

従来の
1/3

維持管理費
脱水ケーキの発生30%
凝集剤コスト50%

従来の活性汚泥処理



容積負荷
0.3～0.8kgBOD day/m³

必要敷地面積
0.5～1.5m²/kgBOD day

従来の活性汚泥処理

管理技術者
管理技術者によるの有人運転

バルキング
発生があり対策が難しい



余剰汚泥量
多いBODの15%程度発生
(SS相当量)

維持管理費
脱水ケーキの発生100%
凝集剤コスト100%

商品説明 URL <http://www.japan-alsi.co.jp/>

<http://www.sunchoh.co.jp/~civil/adpdf/078005916.pdf>